

1 意見文のテーマ設定について

意見文を書かせる際、「筆者の主張（本文の内容）について意見を書きなさい」という指示をしていますか。テーマを具体化することで、生徒は何を書けばいいのか迷わず、スムーズに活動に入ることができます。ここでは、テーマを設定する際の着眼点と、テーマの例を挙げてみました。

(1) 筆者の意図に注目する

主張そのものから、そこに込められた筆者の意図に視点を向けることによって、何を書けばよいかの方がより明確になり、生徒が考えやすくなります。また、主張についてだけでなく、文章の構成や文章表現、例示など、様々な角度から問いかけることで、本文の新たな価値を発見させることができます。

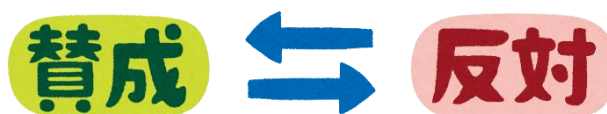
- (例) ・ 筆者がこの主題を取り上げたのはなぜか。
 ・ 筆者がこの文章から伝えようとしていることは何か。
 ・ 筆者はどのように主張に説得力をもたせようとしているか。
 ・ 筆者がこの具体例（構成、表現）を用いたのは何のためか。



(2) 二項対立を設定する

「YES」「NO」といった対立軸を設定することによって、生徒が立場を明確にして意見を述べやすくなります。

- (例) ・ 筆者の主張に賛成か反対か
 ・ ○○と××のどちらが大切か。
 ・ ○○と××のどちらにより共感するか。



(3) 生徒の身近な問題としてとらえさせる

本文の内容を、生徒の身近な日常生活や体験にあてはめることで、より具体化してとらえることができます。自分を軸として考えることで、文章を書くのが苦手な生徒でも、具体例を挙げたり、意見を形成したりすることが比較的容易にできます。

- (例) ・ 筆者の主張は現代の高校生（あなた）にあてはまるか。
 ・ あなたが筆者の立場ならどのように行動するか。
 ・ ○○高校では筆者の主張にあてはまるものが起きているか。



(4) その他

本文の内容を発展させて社会的事象にあてはめる、他の資料と比較するなど、様々な着眼点があります。また、『水の東西』を参考に『○○の東西』について書かせるなど、本文をベースとして違ったテーマを与えるといったこともできます。まずは本文に即して考えさせ、慣れてきたら生徒の興味・関心に合わせて違った形のテーマを設定するのもよいでしょう。

3 意見文の構想ワークシート

【ワークシート（例）】

⑥ 学校教育に情報端末の活用を取り入れることについてどう考えるか、メリット・デメリットを踏まえて考えをまとめよう。	⑤ 問題点の解決策や自分の意見を補強できる例を挙げよう。	④ 自分の意見の問題点や自分の意見に対する反論を挙げよう。	<div style="text-align: center;"> ③ 自分の意見を客観的に見直そう </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> 紙媒体のみで教育を行うことは現実的か？ 情報端末を取り入れることで問題は起こらないか？ </div>	② 具体例を挙げよう。（情報端末を学校教育に取り入れるとどうなるか、具体的に考え、例として挙げる。）	① なぜそのように考えるのか？ ○をつけよう。（取り入れるべきだ・取り入れるべきではない）	あなたは学校教育に情報端末（タブレットPC、スマートフォンなど）の活用を取り入れるべきだと思いますか。
---	------------------------------	-------------------------------	--	--	--	---

二項対立のテーマについて意見文を作成する際の、ワークシート例です。

まず自分の主張（取り入れるべき・取り入れるべきではない）を明らかにします。その後、①～⑥までの枠に自分の考えを書き込んでいきます。このワークシートは、

① 理由（なぜそう考えるか）



② 根拠（学校教育に情報端末を取り入れるとどうなるか具体的に示す）



③ 自分の意見を客観的に見直す

①、②で形成した自分の意見に対し、「本当にそう言えるのか」という視点から見直す

**客観的に見直す
ことで…**

自分の意見を検証的な視点から見直すことで、より論理的で説得力のある意見を目指します。



④⑤ 自分の意見に対する反論を想定し、意見を補強する



⑥ それぞれのメリットやデメリットを踏まえて、改めて自分の主張を述べる

という構成になっています。

それぞれの枠の中に、何を書けばよいか、具体的に示すことがポイントです。このワークシートに記入することで、意見文に必要な素材がそろそろように構成しています。①～⑥の順番に従って書いてもいいですし、より伝わりやすいように構成を工夫させるのもよいでしょう。



4・5 意見文用ワークシート

【ワークシート（例）】

◇評価欄（付箋を貼る）

◇評価の観点

(1) 且本例による本文の検証が行われているか。
 (A:行われている B:行われていないか不明な点もある C:行われていない)
 (2) 自らの筆者への批判的視点が用いられているか。
 (A:用いられている B:用いられていないか不明な点もある C:用いられていない)
 (3) 物語を正しく読み取った上で自分の考えが書かれているか。
 (A:書かれている B:書かれていないか不明な点もある C:書かれていない)

あなた「物語の展開」を話したとき「A」の「B」を「C」で書かれています。

意見文作成・相互評価
 終了後の振り返り記入欄

相互評価の付箋貼付欄

原稿用紙

課題

教師用
 コメント欄

意見文用のワークシート例です。ここでは、評価の観点と意見文用の原稿用紙を同じ紙面に入れました。生徒同士の評価は付箋に記入させ、このシートに貼り付けます。**付箋に記入**することで、**評価を後から見直すことが可能**になります。また、原稿用紙の下部には、教師用のコメント欄を設け、教師からの評価を記入します。この1枚で、課題、意見文、友達と先生からどのような観点でどのように評価されたかが見えるようになっています。

評価の観点（例）

生徒間の 評価	(1)	根拠が挙げられているか。	必要な要素の 有無
	(2)	対策について述べられているか。	
	(3)	どちらの立場をとるかが明確に示されているか。	
教師からの 評価	(4)	筆者の主張を正しくとらえているか。	妥当性 適切さ
	(5)	適切な根拠に基づいて自分の意見が述べられているか。	

評価の観点を提示することで、生徒の目的意識がより明確になります。生徒同士の相互評価では、意見文の内容や妥当性について評価するのが難しい場合があるので、根拠など必要な要素があるかないかで判断できる項目があるとよいでしょう。この例では1～3は生徒同士の相互評価、4～5は教師からの評価を想定しています。